

令和4年3月市議会定例会

市民生活部

議案説明資料

(当初予算分)

目 次

【予算案件】

1	令和4年度市民生活部所管予算(案)総括表	1 頁
2	地域活動拠点整備について	2 頁
3	電子回覧板アプリ地域振興事業について(拡充)	3 頁
4	安全なまちづくり推進事業について	4 頁
5	交通安全啓発事業について	5 頁
6	自転車利用環境整備事業について	7 頁
7	市民主体のまちづくりについて	9 頁
8	男女共同参画社会の推進について	10 頁
9	ジュニア世代の競技力向上事業について(拡充)	11 頁
10	スポーツ施設の管理運営について	12 頁

1 1	スポーツ施設の整備について	1 3	頁
1 2	消費生活啓発相談事業・消費生活改善推進事業について	1 4	頁
1 3	行政サービスセンター及び中核型地区センター等移転改修事業について	1 5	頁

1 令和4年度 市民生活部所管予算（案）総括表

【一般会計】

(単位：千円、%)

区分 予算科目(款・項)	令和4年度 当初予算(案) A	令和3年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A-B	増減率 A/B
市民生活部 合計	5,793,010	5,172,102	620,908	112.0
(款2)総務費	5,319,085	4,660,046	659,039	114.1
(項1)総務管理費	4,455,075	3,745,983	709,092	118.9
(項4)戸籍住民基本台帳費	864,010	914,063	△ 50,053	94.5
(款3)民生費	473,925	512,056	△ 38,131	92.6
(項4)市民生活費	371,391	392,732	△ 21,341	94.6
(項5)青少年女性費	102,534	119,324	△ 16,790	85.9

【地区センター費等】

2 地域活動拠点整備について

[市民生活相談課]

(1) 予算額 528,983千円

財源内訳	国庫補助金	69,270千円
	市債	437,800千円
	一般財源	21,913千円

(2) 事業目的

それぞれの地域における学習やコミュニティ活動、交流活動の拠点となる地区センター・公民館等コミュニティ施設の整備を図るもの。

(3) 事業内容

地域住民の利便性の向上を図るため、施設の老朽化等に対応し、設備の修繕等を実施する。

ア. 地区センター等 118,270千円

① 駐車場整備

富南会館駐車場整備工事 42,000千円

② 設備修繕

消防設備、非常照明器具等の修繕 3,500千円

③ 備品整備

エアコンの更新 69,270千円

ワイヤレスマイク更新 3,500千円

イ. (仮称)水橋会館 410,713千円

① 建設事業費

工事監理業務委託 4,444千円

新築工事 391,383千円

② 管理運営費

備品購入費 9,150千円

その他 5,736千円

【自治組織関係費】

3 電子回覧板アプリ地域振興事業について（拡充）

[市民生活相談課]

(1) 予算額 2,084千円

財源内訳	国庫補助金	2,084千円
------	-------	---------

(2) 事業目的

地域コミュニティの活性化を図るとともに、富山市が目指すスマートシティ推進の一助とするため、町内会等において電子回覧板アプリを活用し、地域ニーズ等を検証するモデル事業を行う。

(3) 事業内容

電子回覧板アプリの活用効果などをさらに検証するため、令和3年度にモデル事業として実施した2つの町内会に加えて、アプリを活用した活動に関心があり、積極的に活用したいと考えている町内会等を新たに募集する。

市はその活動を支援するとともに、アプリを活用した活動への感想や意見等のアンケートを実施し、この事業の効果を検証する。

ア. 事業費内訳

①令和3年度実施町内会継続分

補助金 2組織分 236千円

※基本料金、月額利用料、サポート対応費用

②新規分

補助金 10組織分 1,848千円

※初期設定費用、基本料金、月額利用料、サポート対応費用

【安全なまちづくり推進事業費】

4 安全なまちづくり推進事業について

[生活安全交通課]

(1) 予算額 34,636千円

〔 財源内訳 一般財源 34,636千円 〕

(2) 事業目的

「富山市安全で安心なまちづくり推進条例」に基づき、安全で安心なまちづくりを市民等と協働で推進するため、自主防犯組織の活動や防犯協会等に支援を行い、犯罪の未然防止を図るもの。

(3) 事業内容

- ア. 自主防犯組織の育成・支援 5,207千円
自主防犯組織に対し、結成時補助や活動費補助を行うほか、警察等と連携し、研修会を開催する。
- イ. 防犯広報・啓発活動の実施 224千円
犯罪の未然防止に向け防犯キャンペーンやパトロールを実施する。
- ウ. 防犯関係団体等補助 14,387千円
市内の防犯協会の活動費補助、富山県防犯協会の活動支援を行う。
- エ. ふるさとみまもり事業 6,900千円
警察OB等からなる「ふるさとみまもり隊」が、市内全域の防犯や防災等の点検パトロールを行い、地区センター等と連携し、危険箇所等の情報を連絡・交換する活動について支援を行う。
- オ. 防犯カメラ設置補助事業 2,500千円
地域住民等が主体となった防犯活動を支援するため、町内会等が設置する防犯カメラの整備について支援を行う。
- カ. 公共的空間防犯カメラ設置等事業 5,172千円
通学路における子どもの安全確保等を目的として、犯罪の発生抑止に効果的と期待できる箇所に設置した防犯カメラを管理運用する。
- キ. 富山市安全で安心なまちづくり推進協議会の開催 246千円

【交通安全啓発事業費】

5 交通安全啓発事業について

[生活安全交通課]

(1) 予算額 26,932千円

財源内訳	県補助金・委託金	822千円
	諸収入	1.9千円
	一般財源	26,091千円

(2) 事業目的

「交通事故の発生と事故による死傷者の根絶」を目指し、関係機関・団体等との連携のもと、交通安全市民大会等を通じて交通安全意識の向上と交通事故の減少を図るもの。

(3) 事業内容

- ア. 交通安全意識啓発事業 3,471千円
交通安全市民大会、ポスターコンクールの実施や交通安全アドバイザーの活動支援等を行う。
また、交通安全運動期間等の様々な機会を通じて、反射材の配布を行う。
- イ. 交通安全教室事業 8,620千円
幼児及び高齢者を対象とした交通安全教室や、参加・体験・実践型交通安全教室として薄暮教室、サポートカー体験教室を開催する。
- ウ. 高齢者運転免許自主返納支援事業 6,750千円
令和3年度で申請受付を終了することから、有効期間が2年ある支援券の使用分の支払いを交通事業者に行う。
- エ. 交通安全指導推進体制整備事業 7,560千円
交通安全母の会、交通安全協会、幼児交通安全クラブの活動を支援する。

オ. 横断歩道ルール・マナー定着事業

531千円

富山県において「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止率」が低いため、市民への周知啓発を行い、横断歩道での停止率の向上と交通安全意識の高揚を図る。

【自転車利用環境整備事業費】

6 自転車利用環境整備事業について

[生活安全交通課]

(1) 予算額 12,071千円

財源内訳	国庫補助金	1,500千円
	諸収入	6千円
	一般財源	10,565千円

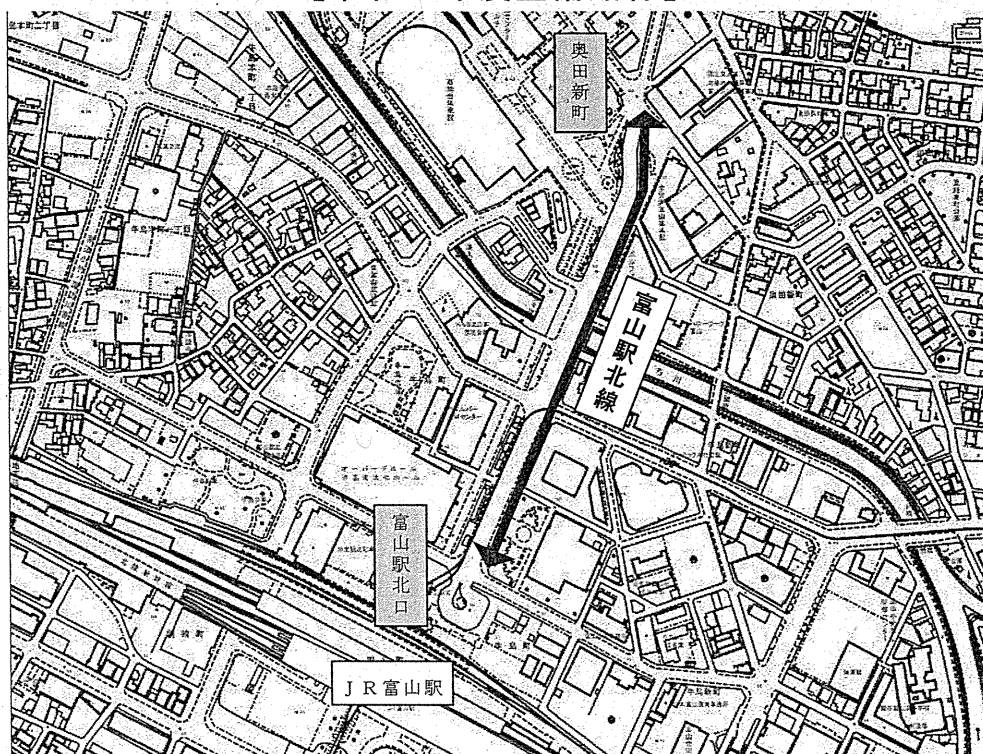
(2) 事業目的

「自転車利用環境整備計画」に基づき、安全で快適に自転車を利用できる環境づくりを推進することで、自転車利用の促進を図るもの。

(3) 事業内容

- ア. 自転車走行空間整備事業 3,400千円
市道富山駅北線の歩道上において、自転車走行位置を明示するための統一的な案内サインの整備工事や既存サインの補修を行う。

【令和4年度整備路線】



- 工事延長 480メートル
- 工事内容 歩道上に自転車マーク等を整備

- イ. 自転車交通安全教室修了証交付事業 2,795千円
自転車の乗車が本格化する小学校3・4年生を対象に自転車交通安全教室を実施し、交通安全意識の高揚と青少年期の交通事故の減少を図る。
- ウ. 自転車マナー向上事業 264千円
中学生に自転車交通安全啓発物品を配布し、ルール遵守及びマナーの向上を図る。
- エ. 自転車損害賠償責任保険加入促進事業 5,612千円
加入の動機づけとして、自転車損害賠償責任保険への加入費用の一部を補助することで市民の当該保険への加入を促すとともに、自転車の安全利用に関する意識の向上を図る。

【協働推進事業費】

7 市民主体のまちづくりについて

[男女参画・市民協働課]

(1) 予算額 1, 397千円

〔 財源内訳 一般財源 1, 397千円 〕

(2) 事業目的

市民主体のまちづくりを推進するため、市政に対する市民や市職員
の協働意識の醸成を図るもの。

(3) 事業内容

ア. 公募提案型協働事業 1, 256千円

市民団体等から事業を公募し、提案団体と市が公共的サービスの
の担い手として、役割分担して事業に取り組み、地域の様々な
課題解決を図る。

①公募対象となる事業

- ・提案団体と富山市が協働で取り組むことによって地域課題の
解決が図られる公益的・社会貢献的な事業
- ・市民満足度が高まり具体的な効果や成果が期待できる事業
- ・先進性、先駆性等の工夫やアイデアがあり、新しい視点か
らの取り組みである事業

②採択団体数 4団体

③負担金額

1団体につき、対象経費の80%相当額(上限300千円)
を交付

イ. 協働推進調査研究事業 141千円

市職員の協働意識を高め、協働に関する基礎的な知識を習得す
ることを目的に「協働推進講座」を開催するとともに、先進事
例等の調査や研究を行う。

【男女共同参画社会推進事業費】

8 男女共同参画社会の推進について

[男女参画・市民協働課
男女共同参画推進センター]

(1) 予算額 9, 6 2 6 千円

財源内訳	諸収入	6 千円
	一般財源	9, 6 2 0 千円

(2) 事業目的

「第2次富山市男女共同参画プラン」に基づき、市民の男女共同参画意識の醸成を図り、男女共同参画に関する施策を総合的・計画的に推進することによって、男女共同参画社会の実現を目指すもの。

(3) 事業内容

ア. 「第2次富山市男女共同参画プラン後期実施計画」の発行	8 5 0 千円
イ. 男女共同参画推進審議会の開催など	1 5 0 千円
ウ. 「富山市男女共同参画白書」の発行	1 3 7 千円
エ. 男女共同参画とやま市民フェスティバルの開催	8 9 4 千円
オ. 小学生向け啓発冊子「自分らしく生きる」の発行	6 7 2 千円
カ. 中学生対象の男女共同参画社会づくり作文コンクールの実施	1 2 8 千円
キ. 情報交流誌「あいのかぜ」の発行	5 1 1 千円
ク. 男女共同参画推進地域リーダー活動支援	9 7 8 千円
ケ. DV相談窓口担当者等研修会の開催	3 2 千円
コ. 男女共同参画講座等の学習啓発	3 2 6 千円
サ. 男女に関する相談事業（DV相談等）	3, 0 2 7 千円
シ. 「家事ダン」マイスター認定事業	1, 9 2 1 千円

【スポーツ大会事業費】

9 ジュニア世代の競技力向上事業について（拡充）

[スポーツ健康課]

(1) 予算額 1,500千円

財源内訳	一般財源	1,500千円
------	------	---------

(2) 事業目的

様々な競技種目の基礎的な運動能力を向上させるランニングの正しい技術や、夢や目標を叶えるために必要な考え方といった、競技に取り組む姿勢を指導することにより、次世代を担うジュニア世代の競技力向上を図るもの。

(3) 事業内容

様々な種目に取り組むジュニア世代を対象に、オリンピック等を招聘し、自身の体験を伝えてもらうとともに、一流の競技技術を学ぶ、ランニング教室を開催する。

【体育施設管理運営費】

10 スポーツ施設の管理運営について

[スポーツ健康課]

(1) 予算額		1, 127, 345千円
財源内訳	市債	7, 500千円
	使用料	184, 972千円
	財産収入	3, 090千円
	諸収入	14, 551千円
	一般財源	917, 232千円

(2) 事業目的

スポーツ振興を図るため、スポーツ施設の適切な管理運営や維持を行う。

(3) 事業内容

ア. 施設(70施設)の管理運営	1, 110, 394千円
①直営管理施設(26施設)	115, 378千円
②指定管理施設(44施設)	995, 016千円
(公財)富山市体育協会(35施設)	656, 218千円
(一財)富山市大沢野健康文化推進財団(4施設)	20, 671千円
(株)富山岸グリーンサービス(1施設)	18, 500千円
(一財)富山市婦中公園緑地管理公社(1施設)	1, 995千円
富山FSパートナーズ(1施設)	242, 914千円
スポーツマックス・三幸共同企業体(2施設)	54, 718千円
イ. 施設の維持・修繕	16, 951千円
・八尾スポーツアリーナ電話設備更新業務	800千円
・奥田北少年サッカー広場男子トイレ洋式化業務	500千円
・市民球場スタンド防水業務	10, 000千円
・その他維持修繕業務	5, 651千円

【体育施設整備事業費】

1 1 スポーツ施設の整備について

[スポーツ健康課]

(1) 予算額		289,975千円
財源内訳	市債	230,400千円
	基金繰入金	23,930千円
	諸収入	17,066千円
	一般財源	18,579千円

(2) 事業目的

スポーツ施設を安全・安心、快適に維持し、さらに施設の機能性の向上を図るため、施設や設備の長寿命化や整備を行う。

(3) 事業内容

ア. 拠点スポーツ施設の長寿命化	262,975千円
①総合体育館消防用ポンベ等更新業務	17,000千円
②大山総合体育センター非常照明更新業務	1,800千円
③市民プール排煙オペレータ装置更新業務	6,000千円
④市民球場消火栓ポンプ更新業務	4,200千円
⑤市民球場スコアボード更新業務	198,000千円
⑥2000年体育館アリーナ照明器具更新業務	32,000千円
⑦体育文化センター省エネルギー化改修業務	3,975千円
イ. その他の施設の改修	27,000千円
ストリートスポーツパーク改修業務 (設計、改修工事)	27,000千円

【消費生活対策事業費】

12 消費生活啓発相談事業・消費生活改善推進事業について

[消費生活センター]

(1) 予算額 28,373千円

財源内訳	県補助金	792千円
	諸収入	54千円
	一般財源	27,527千円

(2) 事業目的

複雑多様化する消費生活相談に迅速かつ的確に対応し、消費者被害の未然防止や周知啓発を図るため、消費生活相談機能の強化など消費者行政の充実・強化を図る。

また、おいしいとやま食べきり運動では、残さず食べきる意識の浸透を図り、食生活の見直しや消費生活の改善を推進する。

(3) 事業内容

- ア. 相談窓口の充実 21,366千円
- イ. (新規)迷惑電話防止機能搭載電話機等の購入助成 1,393千円
 - ①補助対象者：ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯に属する者等
 - ②補助対象機器：警告メッセージ機能と自動通話録音機能を搭載した電話機又は電話機に外部接続可能な装置
 - ③補助対象経費：補助の対象となる電話機等の購入に要する費用
 - ④補助金の額：購入費用の2分の1とし、5,000円を上限とする
- ウ. その他の啓発や相談活動 4,797千円
 - みんなの消費生活展の開催、消費生活教室の開催及び司法書士による多重債務相談の実施（毎週水曜日）等
- エ. おいしいとやま食べきり運動 817千円

【行政サービスセンター費、中核型地区センター費】

13 行政サービスセンター及び中核型地区センター等 移転改修事業について

[八尾行政サービスセンター総務課
山田中核型地区センター
細入中核型地区センター]

(1) 八尾行政サービスセンター移転改修事業

ア. 予算額	4, 583千円
〔 財源内訳 諸収入	440千円
	一般財源 4, 143千円

イ. 事業目的

「地域別実行計画－八尾地域－」に基づき実施される八尾行政サービスセンター移転改修事業について、改修工事後の施設への移転業務、備品購入等を行うもの。

ウ. 事業内容

移 転 諸 費：電話工事料、備品等運搬業務委託等
備品購入費
そ の 他：窓口用消耗品等

(2) 山田中核型地区センター等移転改修事業（新規）

ア. 予算額	140, 544千円
〔 財源内訳 国庫補助金	12, 000千円
	市債 39, 700千円
	一般財源 88, 844千円

イ. 事業目的

「地域別実行計画－山田地域－」に基づき、山田中核型地区センター等の機能を山田公民館へ移転統合し、行政及びコミュニティ機能を併せ持つ複合施設として、また施設の長寿命化対策及び災害時における防災拠点としての施設整備等の改修を行うもの。

ウ. 事業内容

改修費等：バリアフリー化、非常用自家発電設備更新、
空調設備修繕等、照明LED化（1、2階）

移転諸費：電話工事料等、事務備品等移転設置業務等、
宿日直室改修

その他：駐車場外構周辺整備

(3) 細入中核型地区センター等移転改修事業

ア. 予算額 6,119千円

〔 財源内訳 一般財源 6,119千円 〕

イ. 事業目的

「地域別実行計画－細入地域－」に基づき実施される細入中核型地区センター及び細入公民館の移転改修事業について、改修工事後の施設への移転業務、備品購入等を行うもの。

ウ. 事業内容

移転諸費：事務所備品等移転業務、パワーリハビリテーション機器搬入点検業務

備品購入費：会議室用スタッキングテーブル・スタッキングチェア、調理室用丸椅子、冷蔵庫等

その他：避難誘導標識修繕料等